

令和6年 2月20日  
広島市安佐北区役所地域整備課

### 設計図書等に対する質疑の回答書

工事名	安佐北3区103号線ほか2路線道路改良その他工事(5-2)
工事場所	安佐北区可部一丁目ほか
公告日	令和6年 2月 2日
質疑書の提出期間	公告日から令和6年 2月15日(木)まで(広島市の休日を除く。)
回答書の閲覧・交付期間	令和6年 2月20日(火)から令和6年 2月27日(火)での午前8時30分から午後5時(ただし、最終日は午後4時)まで(広島市の休日を除く。)
質疑事項	本工事の工事設計書中、「第0035号 明細書 函きょ工」に計上されていますグラウトホール設置について、積算参考資料の見積単価一覧表に記載が見当たりませんので、単価及び金額について明示をお願い致します。
回 答	積算参考資料の見積単価一覧表において、TA0074グラウトホール設置の単価公表が不足していたので公表します。

工事名：安佐北3区103号線ほか2路線道路改良その他工事（5-2）

工事場所：安佐北区可部一丁目ほか

# 積算参考資料

（注）

（この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。）

広島市安佐北区地域整備課

## 積算参考資料

(この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。)

提示項目	提示事項			
土工数量関係	盛土材については、他工事からの流用で計画している。			
用地関係	他工事位置	区分	数量	運搬費
	本工事より片道 20km 以内	第2種建設発生土	2,700m <sup>3</sup>	他工事により負担
	<p>工事用地については一部未処理であるが、随時取得する見込みである。(別添参考図参照) なお、工事着手時までに引渡が完了せず、工事内容等に変更を伴う場合は、別途協議すること。</p>			

## 復興歩掛及び復興係数に係る積算について

本工事は、復興係数等適用対象工事であるため、以下の方法で積算を行っている。

- (1) 「令和元年度 平成30年7月豪雨の被災地（広島県）で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表」（令和元年9月9日以降に契約締結を行う工事から適用）を用いている。
- (2) 「土木工事標準積算基準書」等により各工種区分、施工地域補正等を考慮した共通仮設費率（率分）及び現場管理費率にそれぞれの補正係数を乗じている。  
なお、補正係数については以下のとおりとする。

【共通仮設費率（率分）：1.1 現場管理費率：1.1】

## 「発注者指定型」(週休2日試行対象工事)に係る積算について

本工事は、週休2日試行対象工事のうち「発注者指定型」であるため、以下の方法で積算を行っている。

「広島市週休2日工事等試行要領(土木工事)」により当初設計から4週8休以上であった場合の補正係数を乗じている。

なお、補正係数については以下のとおりとする。

市場単価(港湾工事は除く)

【労務費：1.05】(設計業務委託等技術者単価は除く)

【機械経費(賃料)：1.04】

【共通仮設費率：1.04】

【現場管理費率：1.06】

※4週8休に満たなかった場合、現場閉所状況に応じ、補正係数を減じた変更を行う。

なお、「週休2日交替制工事」の実施を希望する場合、契約締結後7日以内に、「週休2日交替制工事」の実施を希望する旨を発注者に書面で提出すること。

受理されれば、「広島市週休2日工事等試行要領(土木工事)」により「週休2日交替制工事」の補正係数により変更を行う。

なお、「週休2日交替制工事」補正係数については以下のとおりとする。

【労務費：1.05】(設計業務委託等技術者単価は除く)

【現場管理費率：1.03】

※4週8休に満たなかった場合、休日の取得状況に応じ、補正係数を減じた変更を行う。

見 積 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA0001	3号L型擁壁 P型同等品 1500*2000*1150	本	R0511	66,430	材料単価	全間接費の 対象	
TA0002	3号L型擁壁 P型同等品 1750*1000*1300	本	R0511	117,910	材料単価	全間接費の 対象	
TA0003	3号L型擁壁 P型同等品 1750*2000*1300	本	R0511	80,540	材料単価	全間接費の 対象	
TA0005	3号L型擁壁 P型同等品 1750*1318*1300	本	R0511	133,090	材料単価	全間接費の 対象	
TA0006	3号L型擁壁 P型同等品 1750*1102*1450	本	R0511	137,660	材料単価	全間接費の 対象	
TA0007	3号L型擁壁 S型同等品 1250*2000*1300(1750型)	本	R0511	95,652	材料単価	全間接費の 対象	
TA0008	3号L型擁壁 S型同等品 1250*1000*1300(1684型)	本	R0511	104,050	材料単価	全間接費の 対象	
TA0009	4号L型擁壁 S型同等品 2750*1000*2050(3000型)	本	R0511	260,300	材料単価	全間接費の 対象	
TA0010	4号L型擁壁 S型同等品 3000*2000*2300(3250型)	本	R0511	307,170	材料単価	全間接費の 対象	
TA0011	4号L型擁壁 P型同等品 2750*2000*1900	本	R0511	154,240	材料単価	全間接費の 対象	
TA0012	4号L型擁壁 P型同等品 2750*1000*1900	本	R0511	215,430	材料単価	全間接費の 対象	
TA0013	4号L型擁壁 P型同等品 2750*1960*1900	本	R0511	284,880	材料単価	全間接費の 対象	
TA0014	4号L型擁壁 P型同等品 3250*2000*2300	本	R0511	295,550	材料単価	全間接費の 対象	
TA0015	4号L型擁壁 P型同等品 3250*1000*2300	本	R0511	411,350	材料単価	全間接費の 対象	
TA0016	4号L型擁壁 P型同等品 3250*1753*2400	本	R0511	445,090	材料単価	全間接費の 対象	
TA0017	4号L型擁壁 P型同等品 3250*1911*2300	本	R0511	488,770	材料単価	全間接費の 対象	
TA0018	5号L型擁壁 P型同等品 2250*2000*1600	本	R0511	115,950	材料単価	全間接費の 対象	

見 積 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA0019	5号L型擁壁 P型同等品 3000*2000*2050	本	R0511	245,480	材料単価	全間接費の 対象	
TA0020	5号L型擁壁 II型同等品 2241/2250*1900*1700	本	R0511	970,188	材料単価	全間接費の 対象	コーナー176° 天 端カット
TA0026	7号U型側溝 縦断用 300*800*2000、片土圧	組	R0511	53,310	材料単価	全間接費の 対象	
TA0031	プレキャスト防護柵基礎 800×2000	個	R0511	35,100	材料単価	全間接費の 対象	
TA0032	露出配管 VU200	箇所	R0511	14,266	その他施 工単価等	全間接費の 対象	
TA0034	グレーチング蓋 縦断用 細目 300 L=500	枚	R0511	17,500	材料単価	全間接費の 対象	
TA0035	グレーチング蓋 出入口用 細目 300 L=1000	枚	R0511	27,800	材料単価	全間接費の 対象	
TA0036	コンクリート蓋 スリット蓋 300 L=500	枚	R0511	2,460	材料単価	全間接費の 対象	
TA0037	グレーチング蓋 300*600用 110° 開閉タイプ 細目	枚	R0511	29,740	材料単価	全間接費の 対象	
TA0038	プレキャスト集水柵 300*600*500 110° 開閉タイプ	個	R0511	57,300	材料単価	全間接費の 対象	
TA0039	プレキャスト集水柵 300*600*600 110° 開閉タイプ	個	R0511	61,090	材料単価	全間接費の 対象	
TA0040	プレキャスト集水柵 300*600*1000 110° 開閉タイプ	個	R0511	77,160	材料単価	全間接費の 対象	
TA0041	歩車道境界ブロック 40/180*100*600	個	R0511	1,130	材料単価	全間接費の 対象	
TA0042	歩車道境界ブロック 150/190*200*600 片端部R	個	R0511	3,090	材料単価	全間接費の 対象	
TA0043	プレキャストコンクリート板 300*600用	枚	R0511	6,730	材料単価	全間接費の 対象	
TA0044	プレキャストU型側溝 縦断用 300*300*2000	個	R0511	14,000	材料単価	全間接費の 対象	
TA0045	プレキャストU型側溝 出入口用 300*300*2000	個	R0511	31,300	材料単価	全間接費の 対象	

見 積 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA0056	目隠し板	m	R0511	26,400	材料単価	全間接費の 対象	
TA0059	5号L型擁壁 P型同等品 2250*1800*1600	本	R0511	187,680	材料単価	全間接費の 対象	
TA0060	5号L型擁壁 P型同等品 3000*1494*2050	本	R0511	271,150	材料単価	全間接費の 対象	
TA0061	L型擁壁 RU型同等品 2007/2239*2000*1900(2750型)	本	R0511	231,550	材料単価	全間接費の 対象	509号取付道路左 側
TA0062	L型擁壁 RU型同等品 2239/2475*2000*2050(3000型)	本	R0511	262,290	材料単価	全間接費の 対象	509号取付道路左 側
TA0063	L型擁壁 RU型同等品 2515/2751*2000*2300(3250型)	本	R0511	356,930	材料単価	全間接費の 対象	509号取付道路左 側
TA0064	L型擁壁 RU型同等品 2751/2960*2000*2400(3500型)	本	R0511	377,820	材料単価	全間接費の 対象	509号取付道路左 側
TA0065	L型擁壁 3000/3188*2000*2600(3750型)	本	R0511	445,390	材料単価	全間接費の 対象	509号取付道路左 側
TA0066	L型擁壁 3188/3376*2000*2700(4000型)	本	R0511	466,280	材料単価	全間接費の 対象	509号取付道路左 側
TA0067	L型擁壁 3376/3482*2000*2700(4000型)	本	R0511	466,280	材料単価	全間接費の 対象	509号取付道路左 側
TA0068	L型擁壁 2325/2397*1383*2050(3000型)	本	R0511	328,070	材料単価	全間接費の 対象	509号取付道路左 側
TA0069	溶接金網 φ6.0*150*150	m <sup>2</sup>	R0511	485	材料単価	全間接費の 対象	
TA0071	可とう継手 2.5m×2.5m	箇所	R0511	798,000	材料単価	全間接費の 対象	
TA0072	可とう継手設置 設置用仮設材含む	箇所	R0511	600,000	その他施 工単価等	全間接費の 対象	
TA0073	グラウトホール	組	R0511	61,850	材料単価	全間接費の 対象	
TA0074	グラウトホール設置	組	R0511	4,380	その他施 工単価等	全間接費の 対象	
TA0078	コンクリート削孔(穿孔機) φ400	孔	R0511	31,300	その他施 工単価等	全間接費の 対象	

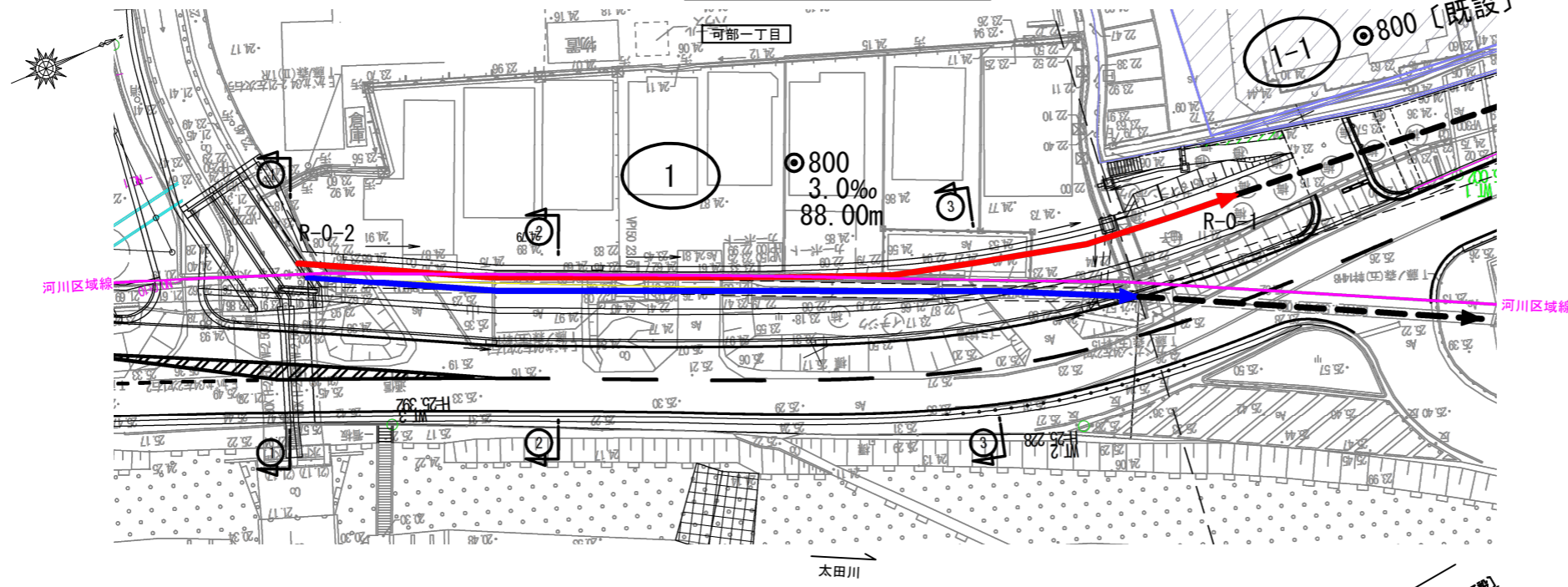


見 積 単 価 一 覧 表

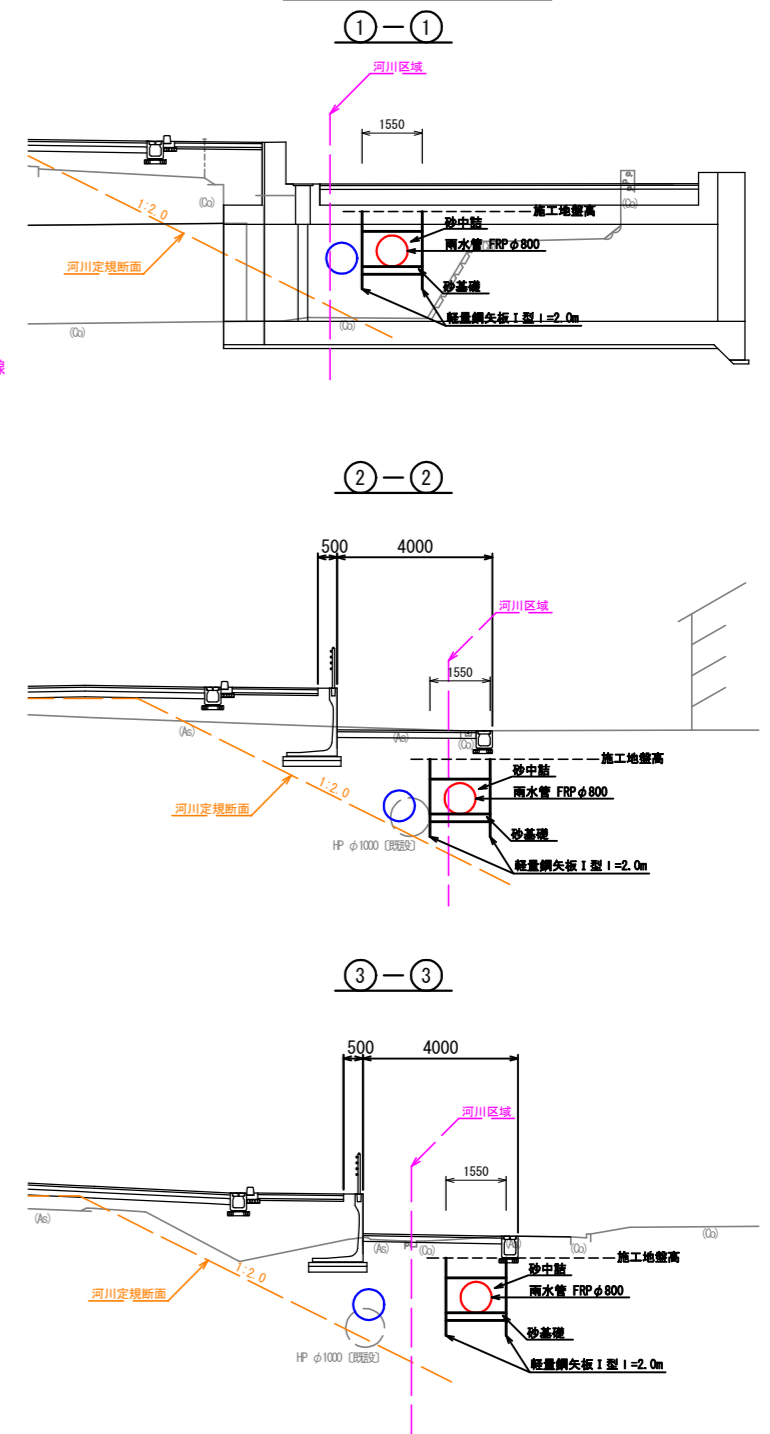
単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA0101	ボックスカルバート 1400*1200*2000	個	R0511	248,700	材料単価	全間接費の 対象	
TA0111	PC鋼棒 φ13*5940	本	R0511	4,300	材料単価	全間接費の 対象	
TA0115	PC鋼棒 φ13*1940	本	R0511	1,400	材料単価	全間接費の 対象	
TA0116	PC鋼棒 φ13*1640	本	R0511	1,180	材料単価	全間接費の 対象	
TA0121	U型カルバート 1400*1200/2000*2000	個	R0511	433,450	材料単価	全間接費の 対象	
TA0122	U型カルバート 1400*1200/2000*2000	個	R0511	468,270	材料単価	全間接費の 対象	天端切欠400*360
TA0123	U型カルバート 1400*1200/2000*2000	個	R0511	433,450	材料単価	全間接費の 対象	フランジ金具等付
TA0124	U型カルバート 1400*1200/2000*2000	個	R0511	433,450	材料単価	全間接費の 対象	連結ボックス付
TA0125	U型カルバート 1400*1200/2000*1700	個	R0511	524,990	材料単価	全間接費の 対象	
TA0126	大型ブロック 控え750	m2	R0511	31,000	材料単価	全間接費の 対象	
TA1000	平板載荷試験 100kN以内	箇所	R0511	201,000	その他施 工単価等	全間接費の 対象	

〔参考図〕

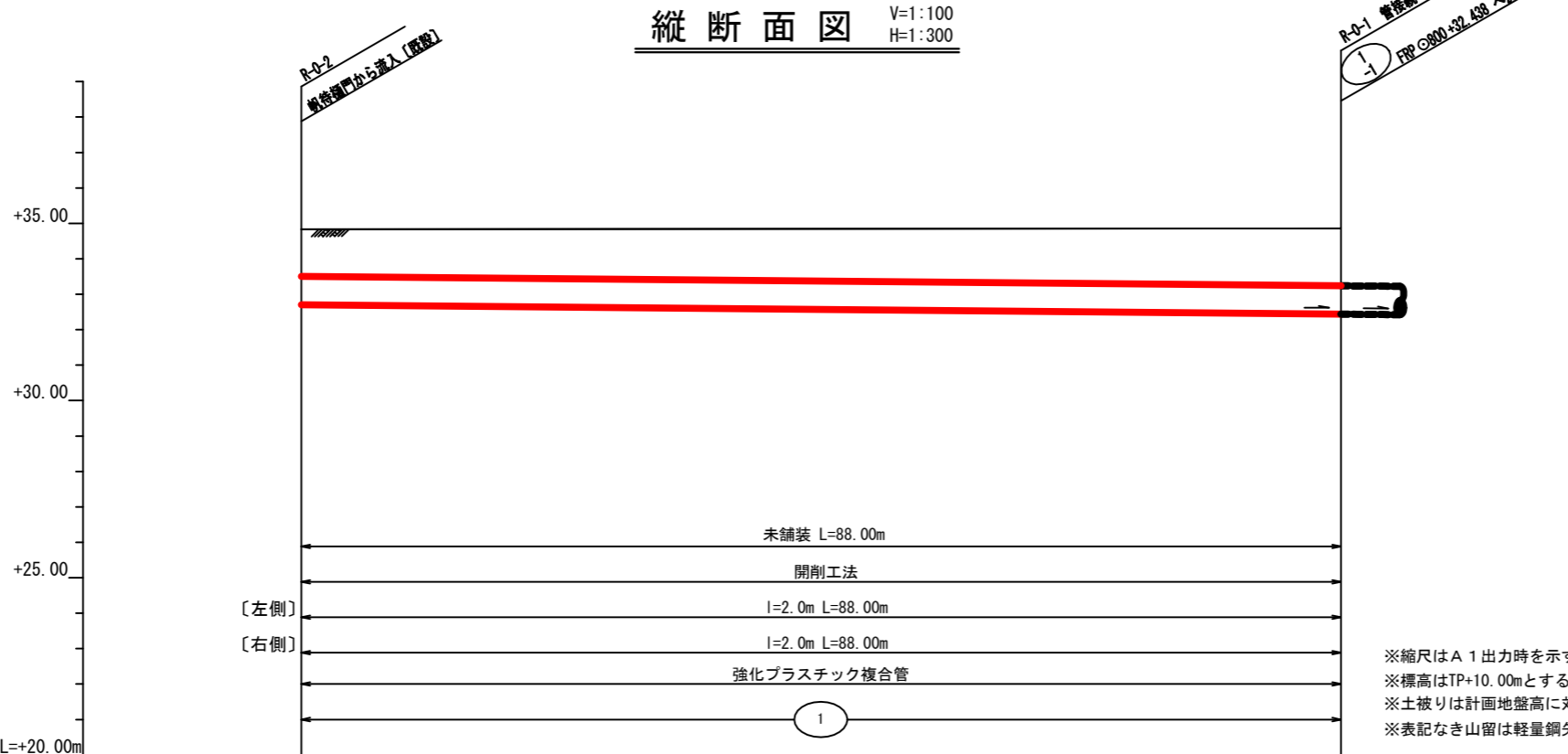
雨水平面図 S=1:300



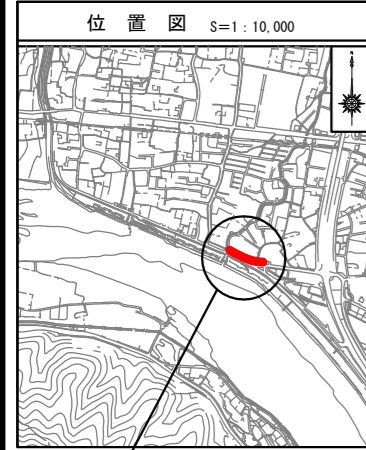
横断図 S=1:100



縦断面図 V=1:100  
H=1:300



※縮尺はA 1出力時を示す。  
※標高はTP+10.00mとする。  
※土被りは計画地盤高に対する数値とする。  
※表記なき山留は軽量鋼矢板 I 型 [建込] とする。



マンホール 凡 例			
○	1号マンホール	⊙	組立0号マンホール
⊙	2号マンホール	⊚	組立1号マンホール
⊚	3号マンホール	⊛	組立2号マンホール
⊛	4号マンホール	⊜	組立3号マンホール
⊜	5号マンホール	⊝	組立4号マンホール
⊝	6号マンホール	⊞	組立精円マンホール
⊞	7号マンホール	⊠	組立特殊マンホール
⊠	8号マンホール	⊡	角4号マンホール
⊡	9号マンホール	⊢	角5号マンホール
⊢	特1号マンホール	⊣	掃除口
⊣	特2号マンホール	⊤	強化型小型マンホール
⊤	特3号マンホール	⊥	内副管付マンホール
⊥	特4号マンホール	⊦	外副管付マンホール

凡 例	
—	雨水実施
- - -	汚水既設
—	雨水既設
- - -	汚水計画
—	雨水計画
++	汚水同一施工
+	雨水同一施工
□	雨水樹取付 (新設)
⊗	雨水樹取付 (既設)
●	汚水樹取付
○	宅地内雨水
⊙	宅地内雨水 (既設)
—	水道管
(1)	ガス管
⊙	N T T 地下ケーブル
(+)	中電ケーブル

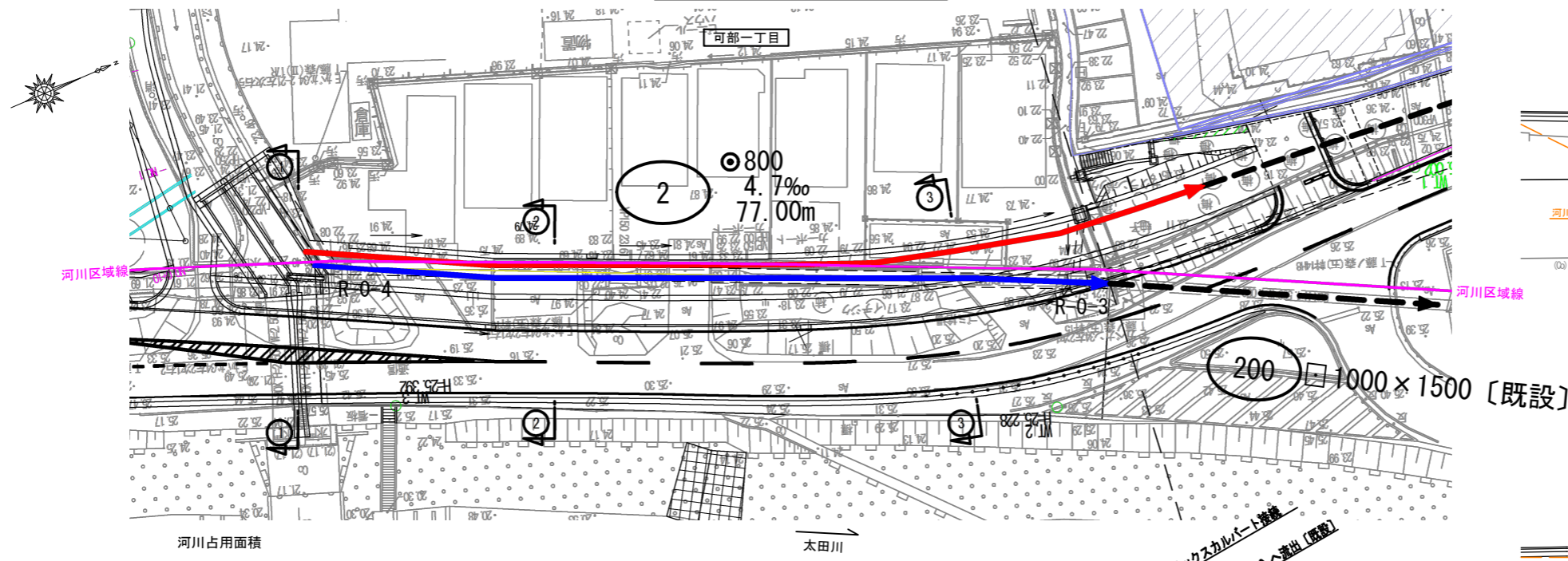
管 径		φ800	
勾 配		3.0	
区 間 距 離		88.00	
計画地盤高		34.84	35.00
施工地盤高		34.10	33.84
土 被 り		1.34	1.76
管 底 高		32.702	32.438
掘 削 深		1.60	1.60
追 加 距 離		88.00	0.00

安佐北3区103号線ほか2路線  
道路改良その他工事 (5-2)

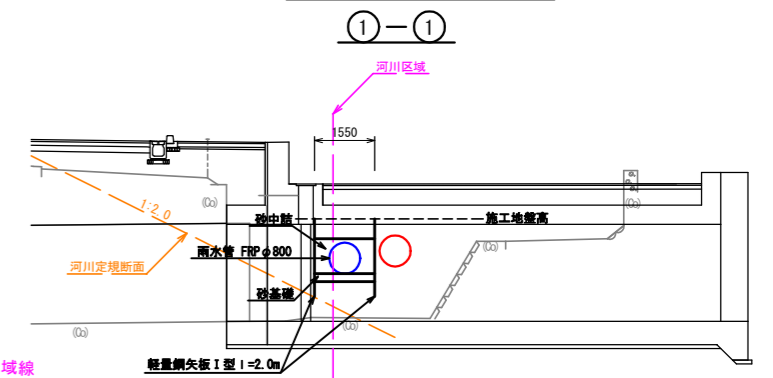
図 名				平面縦断横断図 (1)	
図 番	葉 中	縮 尺	1:100, 1:300		
課長	係長	設計	検算	年 月 日	
				令和5年11月	

〔参考図〕

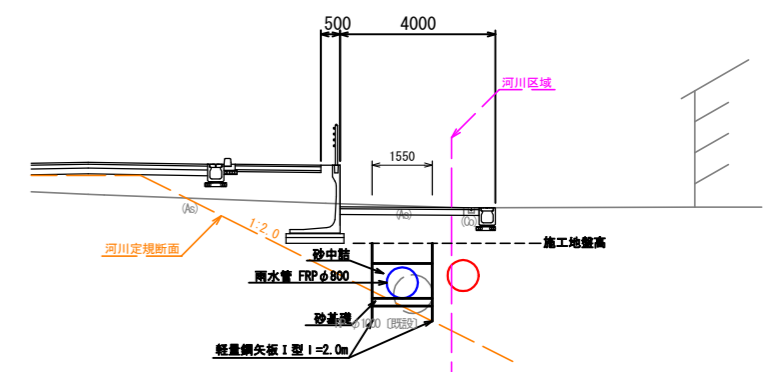
雨水平面図 S=1:300



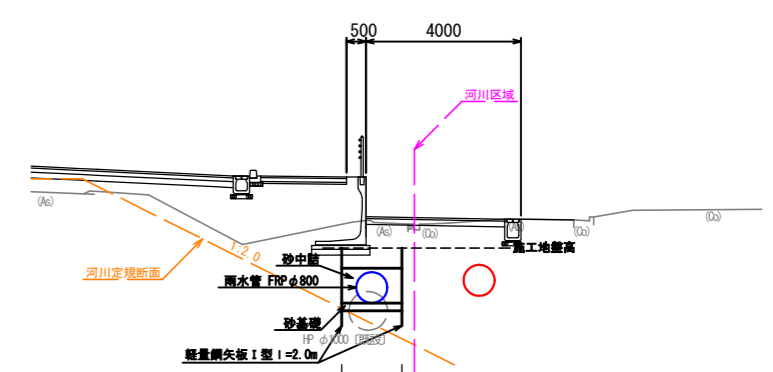
横断面図 S=1:100



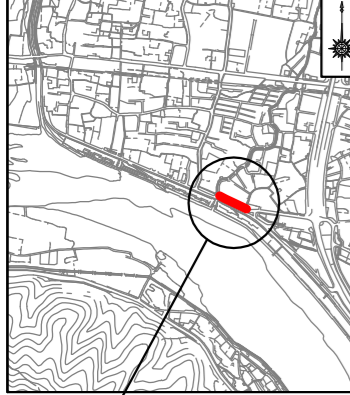
②-②



③-③



位置図 S=1:10,000

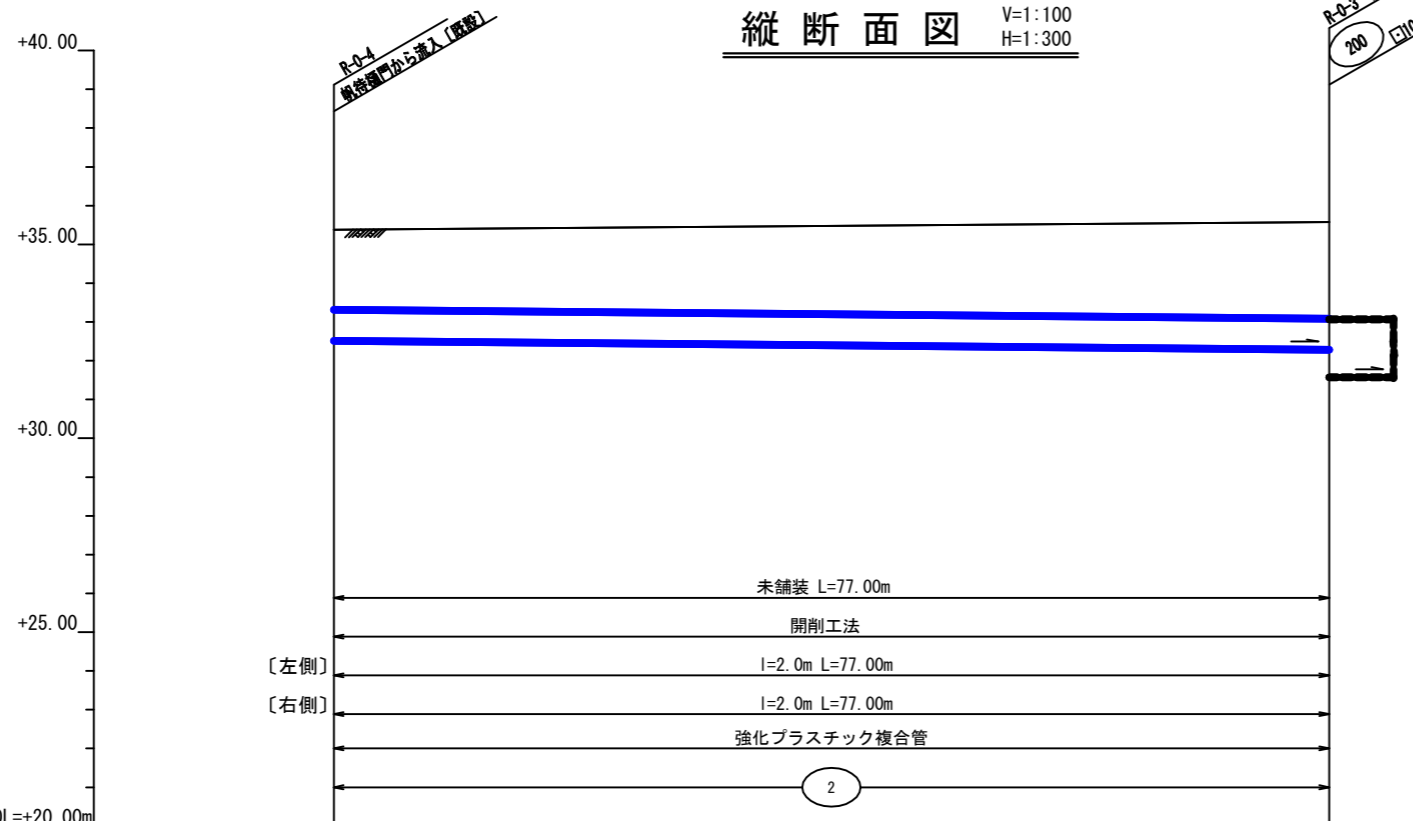


施工場所

マンホール 凡例	
○	1号マンホール
⊙	2号マンホール
⊚	3号マンホール
⊛	4号マンホール
⊜	5号マンホール
⊝	6号マンホール
⊞	7号マンホール
⊠	8号マンホール
⊡	9号マンホール
⊣	特1号マンホール
⊥	特2号マンホール
⊦	特3号マンホール
⊧	特4号マンホール
⊙	組立0号マンホール
⊚	組立1号マンホール
⊛	組立2号マンホール
⊜	組立3号マンホール
⊝	組立4号マンホール
⊞	組立精円マンホール
⊠	組立特殊マンホール
⊡	角4号マンホール
⊣	角5号マンホール
⊥	掃除口
⊦	楕円型小型マンホール
⊧	内副管付マンホール
⊙	外副管付マンホール

凡例	
—	雨水実施
- - -	汚水既設
—	雨水既設
- - -	汚水計画
—	雨水計画
++	汚水同一施工
+	雨水同一施工
□	雨水樹取付(新設)
□	雨水樹取付(既設)
●	汚水樹取付
○	宅地内雨水
⊙	宅地内雨水(既設)
○	水道管
(1)	ガス管
○	N.T.T地下ケーブル
(+)	中電ケーブル

縦断面図 V=1:100 H=1:300



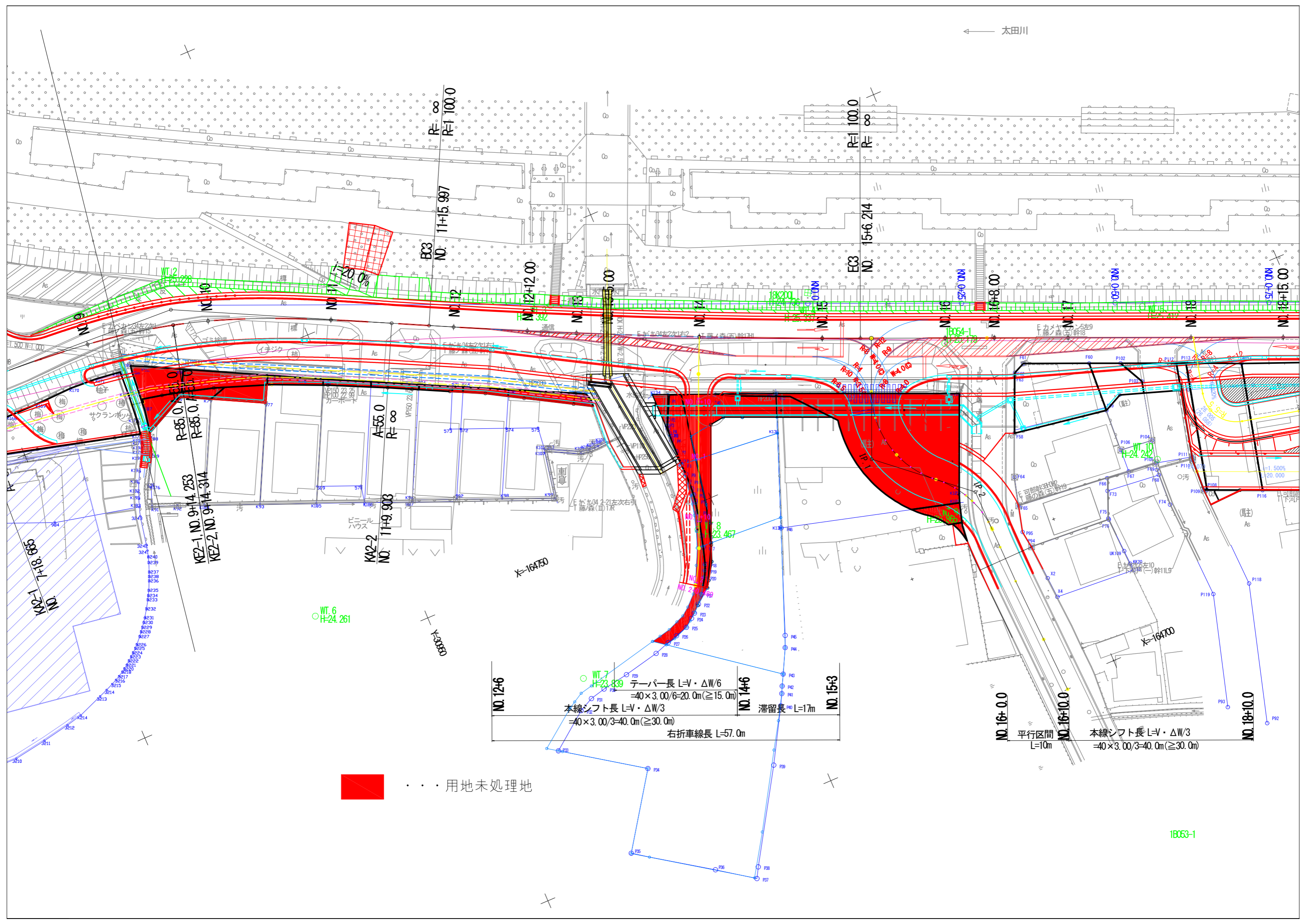
※縮尺はA1出力時を示す。  
 ※標高はTP+10.00mとする。  
 ※土被りは計画地盤高に対する数値とする。  
 ※表記なき山留は軽量鋼矢板I型〔建込〕とする。

管径	Ø800
勾配	4.7
区間距離	77.00
計画地盤高	34.84
施工地盤高	33.91
土被り	1.53
管底高	-32.51
掘削深	1.60
追加距離	77.00

安佐北3区103号線ほか2路線  
 道路改良その他工事(5-2)

図名			
平面縦断横断面図(2)			
図番	葉中	縮尺	1:100, 1:300
課長	係長	設計	検算
年月日			
令和5年11月			





. . . 用地未処理地

NO. 12+6	NO. 14+6	NO. 15+3
テーパー長 $L = V \cdot \Delta W / 6$ $= 40 \times 3.00 / 6 = 20.0m (\geq 15.0m)$		
本線シフト長 $L = V \cdot \Delta W / 3$ $= 40 \times 3.00 / 3 = 40.0m (\geq 30.0m)$		
右折車線長 $L = 57.0m$		
滞留長 $L = 17m$		

NO. 16+0.0	NO. 16+10.0	NO. 18+10.0
平行区間 $L = 10m$		
本線シフト長 $L = V \cdot \Delta W / 3$ $= 40 \times 3.00 / 3 = 40.0m (\geq 30.0m)$		